



# 朝一小だより

活気があふれ、心が躍り、一人一人がより良く生きる学校

Tel048-461-0052 <http://www.asakadailshou.city-asaka.ed.jp/>

学校教育目標

- ・考える子
- ・やさしい子
- ・たくましい子



朝霞市立朝霞第一小学校

令和6年5月1日

児童数 587名



## 友達という存在が果たす役割

校長 金子 二郎

雨傘の出番もありますがそれでも風薫る五月を迎え、晴れた日には心地よい風がそよぎます。尾上有紀子さんが「風が薫る 空の青さに 深呼吸」と詠んだ通り、爽やかな空気を体全体で味わいたくなります。数えきれない児童の笑顔から、「よしやるぞ」という意気込みも伝わってきます。令和6年度がスタートし一月が経ちましたが、保護者や地域の皆様におかれましてもご健勝のことと拝察いたします。今年度も本校の教育活動に対しご理解とご協力を賜っておりますこと、心より感謝申し上げます。



さて、経済学者の西山賢一埼玉大学名誉教授は著書「左右学への招待」の中で、左脳と右脳の分業について、左脳は「言語脳」とされ分析的な判断や論理的思考を得意としているのに対し、右脳は「直観脳」とされ言語以外の情報、空間的、音楽的、情緒的な情報処理に優れていると述べています。ここから久米宏さんが以前ラジオ番組で、例えばデートの時に相手の左脳に届くように座り右耳にささやくのと、左耳にささやくのでは受けとり方も変わってくるのではと話していました。どちらの耳にささやくかはさておき、子供は成長するにつれて友達との間に「二人だけの秘密」をもつようになります。小学校でも高学年、ましてや中学校に行くようになると、親と一緒に旅行に行きたがらなくなる子も出てきます。中には大切な相談をする時に親よりも友達を選ぶ子供も出てきます。親よりも友達が重要になってくる最大の理由は「秘密の共有」にあるようです。親には言えないことでも友達なら言えることが少なからずできてきます。年相応に体も心も成長するにつれ、親には言えないが友達、特に同性の友達には相談できることが増えてきます。秘密の共有は悩みの共有でもあり、悩んでいることを相談する相手が親よりも友達となるケースが増えてきます。ある意味これは子供の健全な成長の通過点の一つで、秘密の共有が人間関係を濃密にしていけます。秘密の共有が友達をつくることに関していかに重要かということであり、その意味では家庭とはまた異なる場として、さらにオンラインではなく直接他者に接する場として、学校での生活も重要な意味をもってくるのかも知れません。しぐさや表情をはじめ、五感に訴える情報量は対面の方が格段に増えるだけでなく、相手との距離感など子供が感じ取るものは計り知れません。言葉を交わさなくともただ同じ場所で時間を共有するだけで何かが伝わるということは、大人でも誰もが経験するのではと思います。もちろん子供が誰かとコミュニケーションを持つことで時には傷つく場合もあることは否定できません。そんな時こそ周りの大人が関わることでその経験を大きく成長できるきっかけにできればと思います。家族とはまた違う友達という存在とともに多くを学びあう、そんな学校本来の役割を果たしていかなければならないと改めて感じています。



ひとりには見え 迷った時 心の奥 灯りに気付く そうかあなたは こんなに側に どんな暗闇だろうと 飛んでいける (藤原基央)

